

学校だより
「まんだ」
No. 3

自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供



認める力

やりぬく力

表現する力

授業中、校内を見回っていると、私の姿を見かけて「おはようございます」と挨拶してくれることがあります。一人があいさつすると、ほかのみんなも「おはようございます」となり、授業が中断してしまいます。それは、私の本意ではないので、「授業中は、校長先生を見かけても挨拶しなくていいよ」と言っています。

すると先日、挨拶のかわりに手を振ってくれる子がいました。うれしいのだけれど、授業に集中してもらいたくもあるのでどうしていいか困っていると、近くの友達が注意しているようです。

「なに、手振りよっと！授業中ばい！」と言っているのかと思いきや、「なに？家族？」と一緒にっこちを見ています。仕方がないので、私も手を振ってみました。

運動会の練習 最後の追い込み

今年は、比較的練習のしやすい気候が続きました。もちろん、熱中症の予防には万全を期す必要がありますが、薄曇りであったり時折心地よい風が吹いたり、雨が降った次の日の運動場は、砂埃もなく、コンディションとしては最高で、先生も子供たちも練習に熱が入っています。

今年度は、昨年度の反省から、いくつか変更しているところがあります。保護者の皆様のご理解とご協力、そして温かいご声援をよろしくお願いします。

【変更点】

- ・出入りをスムーズにするため、入場門と退場門を分けました。
- ・椅子が児童の出入りの邪魔になっていたため、また、準備、後片付けを簡単にするため、児童席の椅子をなくしました。
- ・児童が応援しやすくするため、児童の応援席を本部と対面に配置しました。
- ・子供たちの健康を考え、開会式をほとんど着座で行うこととしました。



- ・子供たちの活躍の場を増やすため、また、運動会を盛り上げるため、プログラム 1 番に全校での団体競技を入れました。

運動会開催に当たっては、毎年、保護者の方々に多大なご協力をいただいております。特に、万田小応援団の方々には、運営にもご協力いただいております。今年度も、テントの撤去等の片付けは、どうしても大人の手のが必要です。当日は、応援グッズの中に軍手を一つ入れていただき、片付けにご協力いただけると大変助かります。よろしくお願いします。

今年もメダカのお世話係が・・・引き継がれる

昨年度から、校長室裏のテラスでメダカを飼っています。昨年度からの生き残りのメダカが30匹くらい？いますが、お世話係の6年生が卒業してなくなったため、私がお世話をしていました。

ある日、校長室のドアをノックする子がいます。何かと思ってドアを開けると、そこには、新6年生の女の子が立っていて、「メダカのお世話をしていいですか？」と。願ってもないこと！「友達もつれてきて、何人かでお世話して。あなたたちをメダカ係に任命します。」と言いました。

メダカのお世話を一緒にしながら話を聞いていると、その子の家でもメダカを飼っていること、お父さんからメダカの育て方を校長先生に聞いて来いと言われたこと、卵を産ませて増やしたいことなどを話してくれました。

しばらくたったある日、「校長先生、子メダカが生まれています。」と。「ここに！」と指し示された指の先を見ると、確かにいます。

お世話が引き継がれ、メダカの命も引き継がれていくんだなあと思ったところでした。

花が好きなのか！

今日（5 / 16）、学校の花壇に花を植えていると、低学年の女の子から「先生何してるんですか？」と。「花を植えているんだよ。」と答えると、「花が好きなんですか？」と言われました。

「花が好きか？」改めて問われると、考え込んでしまいます。でも、私はとてもうれしい気持ちになったのでした。それは、「面倒だけど仕事だから！」と思って花植えをしているのではなく、「花を植えたい！」と思って花を植えている自分を発見できたからでした。そして、花を植えている私の姿をみて、「花が好きか？」と想像し質問した女の子の感性を素晴らしいと思うのです。

花壇に植えられた花も、なんだかうれしそうです。今晚から雨。しっかり根付いてくれるでしょう。